

## 福地こども園 自己評価（自己チェックリストより）

評価対象期間：令和5年1月1日～令和5年12月31日

※各自が取り組んだ「自己チェックリスト」より、ミーティング会議にて現在の実施状況をみんなで確認する。園長、副園長のみで行うものではなく、全体で話し合い、それぞれの考えや実践、今後の課題などを話し合うプロセスを大切にしていける。自己評価チェック後、個人面談を行い個々の評価、課題をより深める機会を設ける。

	令和4年度	令和5年度
第1章 保育の理念	96.3%	97.5%
第2章 保育内容	95.1%	96.9%
第3章 保健・安全活動	96.8%	95.5%
第4章 保護者地域連携	92.0%	92.4%
第5章 子育て支援	90.9%	92.9%
第6章 職務・役割分担	97.9%	97.3%
第7章 職務資質向上	93.2%	95.1%
全体傾向	95.0%	96.3%

## 自己チェック評価表より

	評価点	課題点	改善点
個人・クラス運営評価	特性に合わせ対応した。複数担任の仕事の割振りを的確に行った。信頼関係が出来るようコミュニケーションを大切にしたい。個性を受け止め思いやりをもって接した。生理的欲求を満たす保育。ピアノを努力した。成長を職員間で共有できた。以前より素早く行動できるようになった。仕事を覚えた。言葉がけや態度が適切であるよう心掛けた。深い愛情をもって日々過ごしている。興味に合わせた保育展開（虫捕り、切り紙）をし、それを製作や発表等につなげ保護者と共有できた。新しい役割にポジティブに取り組んだ。行事では他のクラスサポートも出来た。主体性を尊重した保育が出来た。職員間で成長をワイワイ話し合うことが出来た。子どもの得意な事を見つ	丁寧な言葉使い。保護者との信頼関係が得られるように日頃の子どもの様子を伝えるスキル。子どもの意見や思いに耳を傾ける。歌や手遊びなどを効果的に出来なかった。障がいに対する知識。保育展開のレパートリーが足りない。行事の全体取組を把握できなかった。参加職員の偏り。複数担任での意見の相違に納得できなかった。補助する際子どもを把握する事。自身の体調管理。気が付かない間に人権への配慮に欠ける言葉がけや態度をしてしまう事がある。個別配慮の必要な子どもが多く、他児と一緒に遊ぶ事が少なかった。的確な導きが苦手。休んでいたこの理由の把握が遅れてしまう。言葉が足りず誤解を招くことがある。同じ子の怪我があり、保護者に不信感を持たせてしまった。職員の価値観の違いによ	新しい事に挑戦する。気持ちに余裕を持つ。不安な事はすぐに解決する。ピアノ。質の高い保育を目指す。歌や手遊びの工夫。保護者とのコミュニケーション。話し合いの場。コミュニケーション能力。自分の役割や仕事に徹する姿勢。メモをとる。人任せにしない。担当保育士から子どもの個性や特性について聞き取りを行う。専門性を高める。定期的に自分を振り返り改める姿勢。子どもと遊ぶ時間を多くする。全園児に接する機会があるので朝に把握するように努める。危機管理の視点を持つ。遠慮せず大変な時は声を上げる。保護者対応の担当を設け一貫できるようにしてはどうか。気になる子への対応について勉強する。気になる子中心ではなく、全体的な育ちの

	<p>け取り入れた。自信へとつなげることが出来た。子ども達と楽しみながら毎日過ごしている。気付きが多く、園内の歴史や物の場所等を把握している。公平に接した。</p>	<p>る保護者対応のばらつき。年齢発達ならではの主張に難しさを感じた。うっかりミス。会議進行のスキルアップ。計画した保育内容が思うように進まない事があった。気が付いたことをすぐに口に出してしまう。多種多様な職員の得手不得手な点が気になる。忘れてしまう事がある。</p>	<p>保障についても配慮する。目の前の事にいっぱいにならずに感謝の気持ちを伝える。相手の気持ちを考えて行動する。建設的な方法で解決する柔軟な対応。職員の個々の良さを認める。効率的に仕事を進める。勉強する。</p>
園全体評価	<p>行事の進め方がスムーズ。職員間の連携。アプリ導入による出欠確認や連絡。先輩保育士の指導。場を離れる際の声掛けが確実。安全を優先的に守るよう努めた。戸外遊びをたくさんした。実習を行う機会を持ちスキルアップした。保育環境整備が良い。他のクラス運営への協力体制。集中して遊べる工夫がなされている。話し合いが的確になされている。他職員の接し方が厳しすぎるのではと感じることがある。ケース会議にて特性のある子への対応や行事等意見を出し合い、より良いものを目指すことが出来た。日々の保育や行事で成長を伝えることが出来た。行事では毎年同じになるのではなく、より良くするための話し合いをもって進めることが出来た。夕涼み会のネーミングを変更し、午前中に行い、良かった。ボルダリングを取り入れた。園外行事や研修の機会が増え、学びや経験となった。明るい雰囲気がある。子ども達がのびのびと体を動かし遊んでいる。個性を大切にしている。</p>	<p>園全体の仕事を率先して行う。保護者に不快な思いをさせない。安全面への配慮。他クラスの職員とのコミュニケーション。0.1.2歳児と3.4.5歳児の隔たり。行事では全体の流れを把握できず当日を迎えた。職員間連携が特定の人同士になりがち。他クラスとの交流。わかりやすい言葉で伝える事。職員が虫を怖がっている。子どもの探求心の芽生えを刺激する意識。決定事項は早めに伝達してほしい。子どもがいる場で問題点や保護者について話すことのある職員がいた。異年齢保育が実現出来なかった。園全体で特性のある子へのサポート体制を整える事。戸外遊び時、大人も子ども人数が多い時の保育の見直し。安全管理。子どもの人数＝保育教諭人数では難しいクラスもある。業務限定職員が気持ちよく働けるような配慮に欠ける。(感謝が足りない。)共有の物を大切にする。職員間の隔たり。</p>	<p>お互いに納得のいく議論。楽しい雰囲気。積極的な姿勢。現状でベストだ。新しい遊具による保育環境の向上。平常心。複数クラスでの職員間の連携。行事補助の際の公平感。職業人としての意識向上。共に働く仲間として働きやすい職場を作る。他のクラスの情報も取り入れる。複数担任時のリーダーの資質向上。保育士間の私語が多い。ミーティング録や会議録をはやく回す。子どもの前では話してはいけない事項がある。後輩の見本となる行動をとることを心掛ける。朝礼や会議でこまめに共通理解を深める。自分理解。他者理解。変更点があった際の連絡。物を大切に使う。物の整理整頓。断捨離。業務限定職員における仕事の割振りの見直し。</p>
特記	<p>園の清掃、環境整備について。遅刻者がいる。他の職員の残業が気になる。時短勤務について。次年度の担当クラスについて。自身の家庭状況や健康状態による配慮してほしい事項。今年の猛暑によりプール遊びの際の日よけの必要性を感じた。勤務時間について。</p>		
他	<p>メンタルヘルスにおいて特別の配慮が必要か否かという点において、“必要”と記入した方4名 面談中に口頭で必要と示した方1名</p>		